

お客様各位

株式会社 東洋
TEL:075-501-6616

E i ボード機能改善版 (Ver.20.30) のリリース

クラウドバックアップ機能と機能改善に対応したE i ボード Ver.20.30 の予定をご案内いたします。

※当内容は変更になる可能性があります。

1. 発行プログラムと対象バージョン

発行プログラム	発行バージョン	バージョンアップの対象
E i ボード サーバー版	Ver.20.30	Ver.14.10 以降
E i ボード クライアント版	Ver.20.30	Ver.14.10 以降

※E i ボードのみのバージョンアップです。R4 データベースは変わりません。

2. 日程

2-1.ダウンロード公開

2020年10月27日（火）より公開予定

※ダウンロードマネージャー、会計システムマイページ、お役立ちTools（クライアント版のみ）で公開します。

2-2.CD提供

E i ボード Ver.20.30はCD保守のお客様向けのCD配布は致しません。

3. クラウドバックアップ機能について

E i ボード Ver.20.30 で追加される「クラウドバックアップ機能」の概要です。

3-1.クラウドバックアップ機能の特徴

R4 シリーズのトータル保守をご契約いただいているお客様向けの特典として「クラウドバックアップ機能」を追加いたします。

クラウドバックアップ機能は、R4 のデータを、暗号化されたクラウド環境にアップロードして5世代分のバックアップデータを保管する機能です。クラウドのバックアップデータは、災害時に備える BCP 対策「事業継続計画 (Business Continuity Plan)」としての、データ保全に有効です。



3-2.クラウドバックアップ機能のポイント

■利用条件

クラウドバックアップ機能をご利用いただける条件です。

利用条件	仕様備考
トータル保守 (A/B) 契約を保有	R4 シリーズ クラウドバックアップ機能は、R4 シリーズのトータル保守 (A/B) の特典です。保守契約が切れるとクラウドバックアップ、リストアはできなくなります。
インターネット環境	クラウドバックアップを行う R4 環境の PC にはインターネット環境が必要です。ネットワーク環境の場合、サーバーPC にインターネット環境が必須となります。
E i ボード Ver.20.30 以降	E i ボード Ver.20.30 以降がセットアップされている必要があります。

■クラウドバックアップの仕様

クラウドバックアップの主な仕様です。


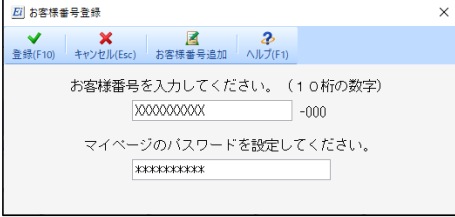
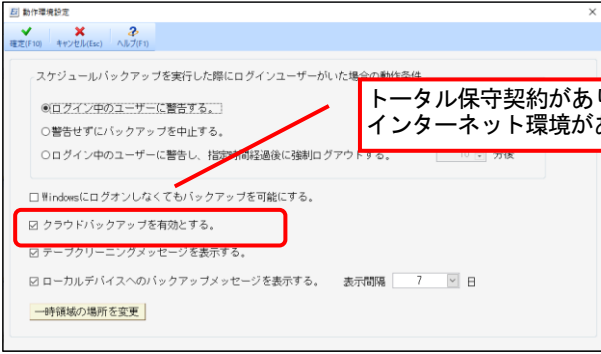
項目	仕様	備考
バックアップ先	暗号化したクラウド環境	AES-256 方式採用 (暗号化鍵を利用する暗号化方式。最も鍵長の 256bit 採用)
バックアップの方法	1 ファイル毎に圧縮暗号化してアップロード	変更があったファイルのみを差分で保管
バックアップの対象	R4 データフォルダー (R4_RDB) 内の R4 データベース お客様番号 1 つに対して PC1 台分	旧アプリデータ、追加フォルダーや共有ドキュメント、汎用データは不可
世代管理	5 世代	スケジュールバックアップの世代管理数とは別に管理
バックアップ容量	無制限	
通信セキュリティ	SSL を利用した https による通信	https : 暗号化通信
リストア方法	「指定した会社データのみリストアする」 「すべてのデータをリストアする」	E i ボードからリストア
リストア回数	保守期間 1 年で 10 回	指定会社 1 社のみリストアはカウントされません。保守期間 1 年で 10 回です。
リストア用途	BCP 対策 (事業継続計画)	パソコン移行時のデータ移行は、通常のバックアップデータをお使いください。

3-3.クラウドバックアップの流れ

クラウドバック機能の流れです。

■クラウドバックアップの利用設定

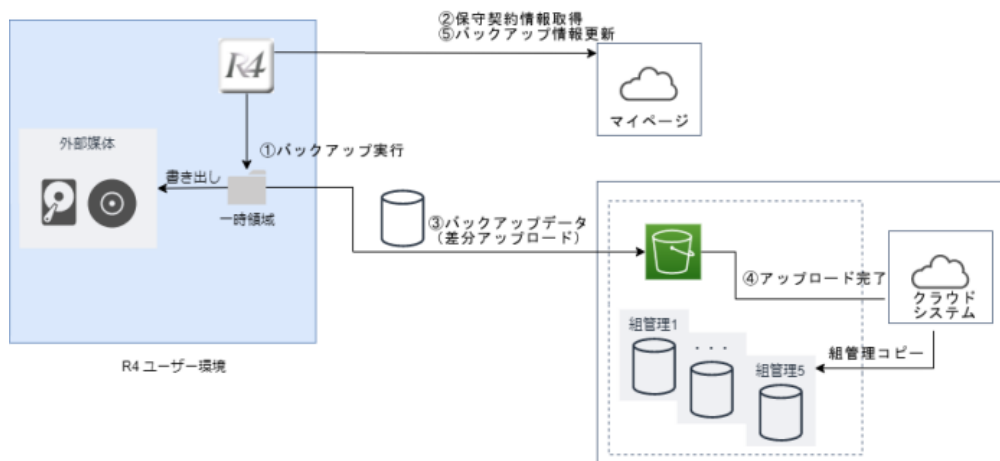
クラウドバックアップを利用するための設定です。

処理順	仕様
① お客様情報 利用条件確認	<p>会計システムマイページにログインして、トータル保守契約を締結していることを確認します。</p> 
② お客様番号登録	<p>トータル保守契約を保有するお客様番号を「E i ボード」の「お客様番号登録」で設定します。</p> 
③ 動作環境設定 クラウドバックアップ 有効設定	<p>「E i ボード」→ [管理メニュー] → [バックアップ・リストア] → [動作環境設定] で、「クラウドバックアップを有効とする」にチェックをします。 バックアップする R4 データが保管されている PC（サーバーPC またはスタンドアロン PC）で設定してください。 （条件に合わない選択肢は表示されず、空欄となります。）</p>  <p>トータル保守契約があり、インターネット環境があると表示</p> <p>以上でクラウドバックアップの設定は完了です。</p>

■クラウドバックアップ処理実行

クラウドバックアップは、E i ボードの一時領域を使用するバックアップ（全てをバックアップ、スケジュールバックアップ（処理年:全て）処理のバックグラウンドで行われます。

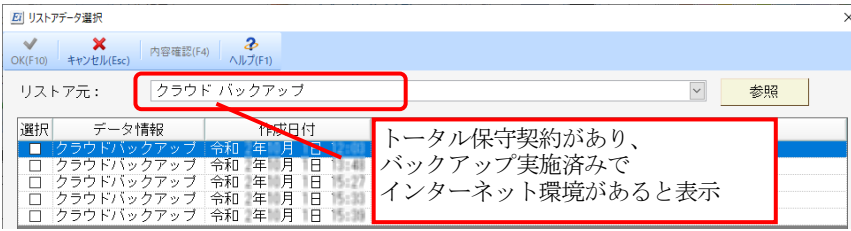
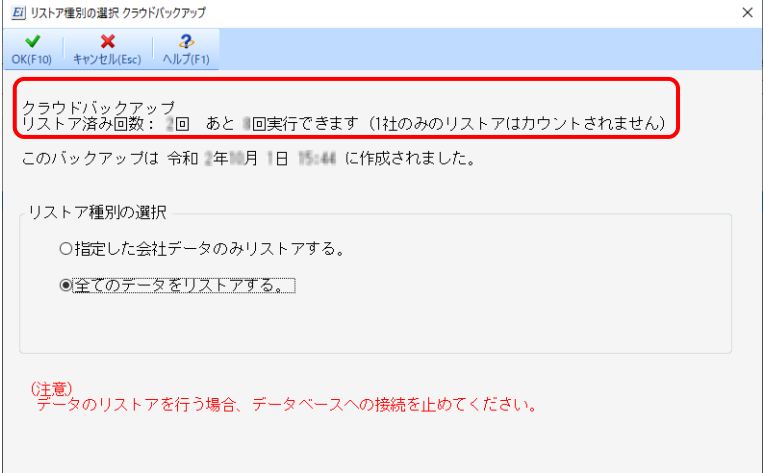
[概念図]



処理順	仕様
① バックアップ実行	E i ボードのスケジュールバックアップ（処理年：全て）または「全てをバックアップ」を実行すると、一時領域へのバックアップが開始します。 外部媒体への書き出しと並行して、メモリ上でバックアップデータをパスワード付き圧縮データに変換します。
② クラウドへアップロード	圧縮されたデータをクラウドへアップロードします。 初回は一時領域のデータを全てアップロードするため時間が掛かります。2回目以降は差分をアップロードします。
③ バックアップ完了	クラウド上へのアップロードと外部媒体へのバックアップが完了するとバックアップ実行結果が表示されます。 クラウド上では、バックアップデータを世代管理する処理が実行され、5世代分のデータが保存されます。
④ アップロード完了	アップロードが完了すると、クラウド上で最大5世代の組管理のコピーが実行されます。
⑤ バックアップ情報更新	バックアップ情報が更新されます。

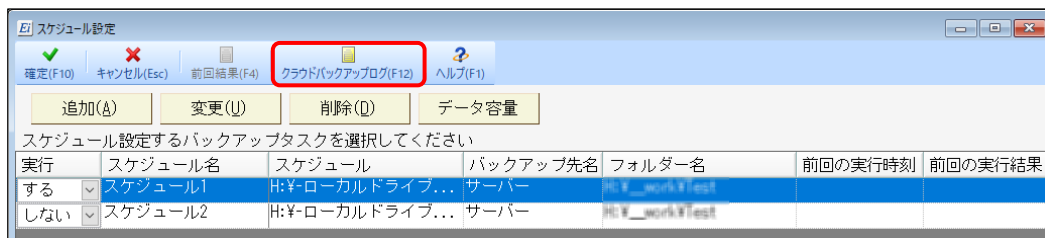
■クラウドバックアップデータリストア

クラウドバックアップデータは、E i ボードの「リストアデータ選択」でクラウドバックアップデータを選択してリストアします。

処理順	仕様
① お客様番号登録	リストアする PC で「E i ボード」の「お客様番号登録」を行います。
② リストアデータの選択	<p>「E i ボード」の [管理メニュー] → [バックアップ・リストア] → [リストアデータ選択] でクラウドデータを選択します。</p> 
③ リストア種別の選択	<p>指定した会社データか、全てのデータをリストアするかを選択します。リストア回数が表示されます。</p> 
④ リストア実行	クラウドからバックアップデータを解凍しながらダウンロードしてリストアします。リストアが終了すると、リストア実行結果を表示します。

■クラウドバックアップのログ

クラウドバックアップの実行ログはスケジュール設定画面から確認できます。



実行	スケジュール名	スケジュール	バックアップ先名	フォルダー名	前回の実行時刻	前回の実行結果
する	スケジュール1	H:¥-ローカルドライブ...	サーバー	H:_work\test		
しない	スケジュール2	H:¥-ローカルドライブ...	サーバー	H:_work\test		

■クラウドバックアップの強制解除

ユーザー設定支援ツールに「クラウドバックアップ強制解除」を追加しました。

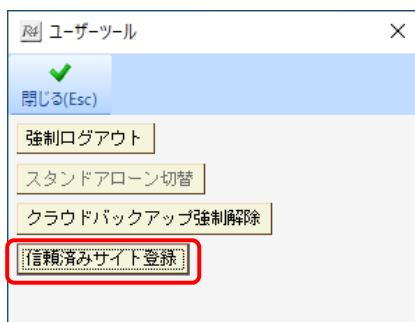
クラウドバックアップの設定情報は、設定した PC の情報と紐付きませんが、PC の入れ替え等で旧 PC のバックアップ設定情報を解除する場合は「クラウドバックアップ強制解除」を行ってください。その後、新しい PC でクラウドバックアップを有効にしてください。

4. その他の変更内容

クラウドバックアップ以外の変更内容は次のとおりです。

4-1.信頼済みサイトへの登録機能

ユーザー設定支援ツールに、R4 シリーズで接続する URL を Internet Explorer の信頼済みサイトに登録する機能を追加します。



4-2.障害対応

- | | |
|---|---|
| ① | Windowsのログオン後に、「Epson.Accounting.Tools.TaskSchedulerN」は動作を停止しました。」のメッセージが表示される障害に対応します。 |
|---|---|

5. バージョンアップの注意点

- サーバーとクライアントの両方を **Ver.20.30** にバージョンアップしてください。

環境を統一するために、サーバーおよび全てのクライアントPCで、Ver.20.20へのバージョンアップを実施していただくようお願いします。バージョンアップする順番はどちらからでも構いません。

※サーバーのバージョンが不一致でもクライアントPCのE i ボードのセットアップでエラーにはなりません。

- サーバーのE i ボードのバージョンアップはクライアントの **R4 アプリケーション** を終了して行ってください。

ネットワーク版をお使いになっている場合、サーバーのE i ボードをバージョンアップする前に、全クライアントのR4アプリケーションを終了してください。

以上、宜しくお願いいたします。